

QMGスコア

13項目の質問表

記入日
/ /
患者氏名
担当医名

- 「QMGスコア」は、MGの重症度を評価するための質問表です。
- 13項目について、それぞれ「正常(0)」、「軽度(1)」、「中等度(2)」、「重度(3)」の4段階(合計0～39点)で評価し、スコアの合計が高いほど、重症と判断されます。
- QMGスコアの合計3点以上の改善は、臨床的に意義のある改善とみなされます¹⁾。

1) Barohn RJ, et al. Ann NY Acad Sci. 1998; 841: 769-772.

患者さん状態にあてはまるスコアを記入してください。

方法	正常	軽度	中等度	重度	スコア 記入欄	
Grade	0	1	2	3		
右方視、左方視時の 複視出現までの時間(秒)	61	11～60	1～10	常時		
上方視時の眼瞼下垂出現 までの時間(秒)	61	11～60	1～10	常時		
顔面筋力	正常に閉眼できる	完全に閉じることが できるが、少し弱い	完全に閉じることが できるが、抵抗を加え ると容易に眼球結膜 が露出する	完全に閉じることが できない		
100ccの水の飲み込み	正常	軽度の誤嚥、咳払い	強い誤嚥、むせ、 鼻への逆流	飲めない		
1～50まで数え、 構音障害が出現するまで	50まで言える	30～49	10～29	1～9		
座位で上肢90°挙上が 可能な時間(秒)	右 240 左 240	90～239	10～89	0～9		
%FVC(努力肺活量/ 予測肺活量×100)	≥80	65～79	50～64	<50		
握力 (kg)	利き手	男性	≥45	15～44	5～14	0～4
		女性	≥30	10～29	5～9	0～4
	反対側 の手	男性	≥35	15～34	5～14	0～4
		女性	≥25	10～24	5～9	0～4
臥位で頭部45°挙上が 可能な時間(秒)	120	30～119	1～29	0		
臥位で下肢45°挙上が 可能な時間(秒)	右	100	31～99	1～30	0	
	左	100	31～99	1～30	0	
合計(0～39点)						

(Jaretzki A 3rd, et al. Neurology. 2000; 55: 16-23. より作成)

[重症筋無力症/ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン作成委員会編:重症筋無力症/ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン
2022 p.27 2022, 南江堂]より許諾を得て転載